

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	身体拘束をしないケアの実践として、ホーム内での学習会を行い、委員会も開催している。職員に向けて高齢者虐待防止についてセルフチェックシートを使いアンケートも実施しているが、その結果を職員にフィードバックできていない。	アンケート結果を職員全体にフィードバックし、職員間で共有し、今後のケアのケアに反映させケアの質の向上につなげる。	アンケート結果をまとめ、フィードバックし、職員全体会議で討議・意見交換する。	12ヶ月
2	26	ご本人の思いをアセスメントし、介護計画を作成しているが、アセスメントできたご本人自身の言葉や行動を具体的なニーズとして設定できていない。	ご本人の発した言葉、行動を具体的なニーズとして、そのまま活かしていく介護計画を設定し、その方のQOLの向上につなげていく。	カンファレンスでは、職員全体でニーズの設定についても話し合い、具体性や個別性の借る介護計画を作成し、ご本人の立場にたったケアが提供できるようにする。	12ヶ月
3	40	人格の尊重・プライバシーの保護をしっかりと行うように、日々、実践しているが、ご本人の着たい服や食べたいものなど、自己決定して頂くことが少なくなりつつある。	職員のペースで決定してしまうのではなく、ご本人が、自ら選ぶ、自ら決めることをお手伝いできるような声掛け、話し方を全職員で意識していく。ご本人は事故決定できた喜びで生活に潤いが持てる。	自ら選び、自ら決めることができるように、声掛けや話し方、心の余裕を持てるように全職員で工夫し、実践していく。選択肢をあまり多くせず、自己決定しやすいアプローチをしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。